

夫

四年

画数 4
筆順 ニ 夫
オン フ・フウ
クン おつと

成り立ち



頭に冠（かんむり）をのせた人の形を表した字です。冠は成人した男の人がかぶるものですから、冠をかぶった人は、「成人した男の人」ということを表します。また、たんに「男の人」の意味にも使われます。【例】農夫、漁夫、凡夫。

「結婚した男の人」という意味にも使われます。【例】夫婦、夫妻、夫唱婦随。

また、身分の高い人の妻のことを「夫人」といった時代があり、今は他人の妻のことをそんけいしているのに使われます。

使い方

▽夫と妻は一心同体といえます。夫婦が仲良くしているのは見ていて気持ちの良いものです。反対に、喧嘩ばかりしている夫婦では、子供の心も不安定になりますし、良いことはありません。必ずしも夫唱婦随である必要はありませんが、夫婦は仲良く暮らして行きたいものです。

熟語例

- ▽農夫（お百姓さんのこと。農業をいとなんでいる男の人のことです。「楽しき農夫」という歌がありますね。）
- ▽漁夫（漁師のこと。漁をする男の人のことをいいます。「漁夫の利」といえば、争っている者のすきにつけこんで、横からうまうまと利益をさらう、という意味です。これは、中国の話で、鳥が貝をとろうとして、殻にくちばしをはさまれてしまい、互いに争っているうちに、漁師がやって来て両方をつかまえてしまったという故事による言葉です。）
- ▽凡夫（平凡な男。普通の男。とくべつすぐれてもない男の人のことです。）
- ▽夫婦（夫と妻）

使い方

▽わたしはユニセフの共同募金に寄付をしたことが何回あります。日本は今では豊かですが、世界の国の中には貧しい所が多く、飢えや病気に悩んでいる人たちも少なくありません。それで、おこづかいをためて、寄付をしたのです。

熟語例

- ▽付与（あたえること。「天が人に付与した性質」などというふうな、つかいます。）
- ▽交付（役所などが、一般の人に書類などを与えること。「運転免許を交付してもらうのに、ずいぶん骨を折った」などというふうな、つかいます。）
- ▽寄付（事業などのために、お金や品物を与えること。）
- ▽添付（書類などに、何かをつけ加えること。「領収書を添付し送って下さい」などというふうな、つかいます。）
- ▽付加（つけ加えること。）
- ▽付属（つけ加わって、属していること。「大学に付属した中学・高校」などというふうな、つかいます。）
- ▽付設（つけ加えた設備。また、設備をつけ加えること。）

付

四年

画数 4
筆順 一 付 付
オン フ
クン つりくりける

成り立ち



手の形を表し、手の意味に使われた「寸」と「イ」とを組み合わせて作った字です。

「人」に、物を「手わたす」ことを表した字で、「人に物を「あたえる」ことを表したものです。【例】与、交付、寄付。

「つけ加える」「つける」という意味にも使われます。【例】添付、付加、付属、付設。

また、「あずける」という意味にも使われます。【例】付託。